

平成24年度 教育行政執行方針

平成24年第1回登別市議会定例会に当たり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

わが国においては、グローバル化や少子高齢化の進展により、社会・経済環境が一層厳しさを増し、先行き不透明な状況になっております。

そのような中、教育においては、新しい時代を積極果敢に築き上げていく、気概をもった人材を育成することが求められており、そのためには、次代を担う子どもたち一人一人が、しっかりと自立し、生き生きと活躍できる力を身に付けることが、重要であります。

教育委員会では、希望と高い志を持ち、未来に向かって心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指して、教育行政を着実に推進してまいります。

以下、平成24年度の重点項目について申し上げます。



演台から執行方針を述べる武田教育長

本市教育の重点目標である『子どもたちの生きる力の育成』と『地域に根ざした魅力ある学校づくり』の実現を目指して、学校・家庭・地域が連携し、それぞれが持つ機能を十分に生かしながら、調和のとれた『心豊かな人間性』を育む教育を推進します。

1. 学校教育

学校の安全対策

学校に対し、危機管理マニュアルや防災体制の見直しと、自然災害を想定した『避難訓練を徹底すること』や児童生徒が自らの命を守りぬくため『主体的に行動する態度』を育成するなど、防災教育の一層の充実を促します。

また、学校施設の耐震化は、富岸小学校および登別小学校の耐震診断、鷺別小学校改築の基本設計、幌別小学校および西陵中学校体育館の耐震補強工事に取り組みます。

学力向上対策

全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、各学校が策定する学力向上改善プランの検証・改善サイクルが機能するよう各種資料の提供などを通し、学校の取り組みを支援します。

また、平成23年度の学力調査では、本市の小学校の平均正答率が、国語、算数ともに全道平均を上回るなど、これまでの取り組みが着実に成果となって表れてきていますので、引き続き少人数指導、習熟度別指導などのきめ細かな学習指導に取り組みほか、放課後や長期休業中の補充学習の取り組みを促します。

教職員の資質向上

本年度も、教育実践研究奨励校として6校を指定し、先進的な授業研究や研修活動を支援するとともに、その実践成果を活用するなどして、学校における職場内研修機能の強化を図ります。また、道教委が計画する経験年数や職務内容に応じた研修会への積極的な参加を促すほか、引き続き、若手教員の指導力向上をめざした『巡回指導教員』の活用を図ります。

特別支援教育

各学校のコーディネーターや教員の資質、指導力の向上を図るとともに、介助員や支援補助員の適切な配置に努めます。

特色ある教育活動

北国らしいスポーツの体験と体力向上を目指したスキー・スケート学習は、本年度より、全小学校で実施することから、安全で有意義な学習となるよう支援します。

英語教育

これまでの実践を踏まえ、小・中学校9年間を見通した英語学習を実施するため、関係者の協力をいただき『登別市英語教育推進プログラム』を作成します。

『幼・小・中』の連携

子どもたちが、新しい環境に馴染めずに生じるさまざまな問題に対応するため、指導の連続性や望ましい学校間のあり方について検討するなど、円滑な接続が図られるよう努めます。

地域に信頼される学校づくり

昨年は『教育ふれあいウィーク』として、学校の一斉公開や特別支援教育に関する懇談会などに取り組みましたが、さらにテーマを広げ、その充実を図るとともに、『教育広報』を発行し、教育活動の積極的な情報発信に努めます。

豊かな心の育成

子どもの発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通して行う道徳教育や人権教育を推進し、基本的な倫理観や規範意識、生命を大切にできる心、他人を思いやる心を育成する取り組みを支援します。

不登校・いじめの対応

『不登校・いじめ等対策会議』を通して、事例研究や教育講演会を実施するとともに、道教委が主催する『どさんこ子ども地区会議』に児童生徒の代表を派遣し、いじめ根絶のための活動を推進します。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員を配置し、相談体制の充実を図るとともに、適応指導教室と連携した学習や体験活動の取り組みを強化します。

健康や体力づくりの推進

学校での体力向上の取り組みを支援するとともに、今年度から、市内中学校で必修となる、柔道の安全で円滑な実施を図るため、指導者研修や指導内容の充実にも努めます。また、学校や家庭と連携し、『早寝・早起き・朝ごはん運動』の啓発に努め、子どもたちの生活習慣の改善に取り組みます。

食育の推進

食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、栄養教諭を中核とした指導の充実にも努めるとともに、学校給食における衛生管理の徹底や地場産品の活用を推進します。

学校図書館

図書の実質と読書環境の整備に努めるとともに、昨年度導入を図った図書管理システムの有効活用を促します。